

放射能対策 令和3年度の実績状況

No.	取組項目	担当課	令和2年度までの取組方針・実績	令和3年度の実績	令和元年度から3年度の実績状況
1	空間線量の測定	手賀沼課	小・中学校（19校）、幼稚園（10園）、保育園（19園）、子育て支援施設（2施設）、学童保育所（3か所）、公園・子どもの遊び場（193施設）、スポーツ施設（12施設）計258施設について年1回の空間線量の測定を施設管理者が実施	施設ごとの区分を取り払い、我孫子地区、天王台地区、湖北地区、新木地区、布佐地区の5地区について、代表点を設定し、そこを定点観測地点として実施。（市内15施設）	別紙のとおり
	クリーンセンターでの空間線量測定	クリーンセンター	年6回、敷地境界4カ所での空間線量の測定	年2回4カ所での空間線量の測定	（最高値、高さ100cm） R1…0.078μSv/h、 R2…0.080μSv/h R3…0.069μSv/h
	手賀沼沿いでの空間線量測定	手賀沼課	年1回手賀沼沿い14カ所での空間線量の測定	継続	（平均値、高さ1m） R1…0.066μSv/h、 R2…0.071μSv/h R3…0.053μSv/h
2	放射線量測定機器の貸出	手賀沼課	放射線量測定器の貸出しを希望する市民等に、1泊2日を基本として測定器を貸出	継続	（貸出件数） R1… 17件、 R2… 6件 R4.2月まで…8件
3	公共施設の除染（局所的なホットスポットへの対応）	手賀沼課 施設所管課	除染の基準値以上の箇所が見つかった場合、施設の所管課と協議のうえ除染等の措置を実施	継続	・除染完了後のH26年1月以降年2カ所程度確認し除染を実施 ・H30年度に柴崎中央公園の局所除染を実施後、汚染が確認されていない
4	自治会などが行う除染活動への支援	手賀沼課	作業に関する相談、必要な用具を貸し出し	継続	・平成28年度以降、自治会等からの相談なし
5	ごみ焼却灰などの放射性物質検査	クリーンセンター	・搬出物となるごみ焼却灰、剪定枝木チップ、不燃ごみの放射性物質検査を月1回検査 ・ごみ焼却炉の排ガスを月1回検査	・搬出物の検査を月1回で継続 ・排ガス検査を年2回に縮小	R3(R4.2月まで)最高検出値(ベクレル/kg) ○排ガス…不検出 ・ごみ焼却灰 ・主灰…220(R3年4月) ・飛灰…740(R3年10月) ○剪定枝木チップ ・搬入物…160(R3年5月) ・ストックヤード保管物…220(R3年4月,5月) ○不燃ごみ…不検出
6	廃棄物の放射性物質濃度低減に向けた取り組み（剪定枝木・草木の処分）	クリーンセンター	平成24年6月から剪定枝木や草等を可燃ごみと分けて回収・チップ化し最終処分	継続。試験的に焼却量を増やし、焼却灰の放射性物質濃度を確認していく。	
7	原水と浄水の放射性物質検査	水道局工務課	湖北台浄水場の原水(地下水)と浄水の放射物質検査を月1回実施	継続	・2検体×12カ月 ・平成23年3月以降不検出を継続
8	給食食材の放射性物質検査	手賀沼課	給食食材を次の頻度で検査 ・学校：各校1検体を毎月第2月曜日に農政課で検査（R2年度約160検体、R元年度までは学校教育課で実施） ・保育園（子ども発達センター含む）毎水曜日2～3園の食材を手賀沼課で検査 ・放射性セシウムが検出された場合は給食で使用しない	・新しい産地から購入した食材など各校・各園で希望する食材の検査を実施する ・結果の公表は必要に応じて実施	・保育園で自家栽培したものの3検体を実施 ・結果の公表なし
9	我孫子市産農産物の放射性物質検査	農政課	・小・中学校給食に使用するものについて、各品目の初回納品予定分の放射性物質検査を実施 ・農業者からの検査希望に引き続き対応する。	・給食使用食材の検査は終了 ・農業者からの検査希望食材（出荷証明書が必要なため、主にタケノコ）には引き続き対応	R1…86検体 R2…243検体 R4.2月まで…44検体 ※R2年から学校給食検査が農政課に移管されたため増加。R3年は定期的な学校給食検査が終了したため、検査数が減少。
10	市民等が持ち込む食品・飲料物の放射性物質検査	手賀沼課	・毎週月曜日に受付 ・令和元年度から商業観光課から手賀沼課に移管	継続	R1…31検体 R2…13検体 R4.2月まで…3検体
11	小・中学校の健康診断における甲状腺の視診・触診	学校教育課	我孫子医師会の協力を得て、就学時健康診断と小・中学校の健康診断において甲状腺の視診・触診を実施	継続	
12	内部被ばく線量測定費用の一部助成	健康づくり支援課	妊婦または平成6年4月2日以降に生まれた方を対象に、内部被ばく線量測定費用の一部を助成（助成額…測定費用の1/2、3,000円限度）。	継続	R1…1件 R2…0件 R4.2月まで…0件
13	甲状腺検査費用の一部助成	健康づくり支援課	平成4年4月2日から平成23年4月1日までの間に生まれ、原発事故当日と検査日において我孫子市に住民登録のある方を対象に、甲状腺超音波検査と血液検査を併せて検査した場合の費用の一部を助成(助成額…5,000円)。	継続	R1…3件 R2…2件 R4.2月まで…0件(申請3件)
14	原子力損害賠償請求に関する農業者への情報提供	農政課	東京電力HDに対する原子力損害賠償請求について、農業者から問い合わせを受けた際に情報提供を行う	継続	年度末に市内農業者へ郵送で問合せ先の情報提供、東京電力HDの窓口紹介のチラシの送付
15	東京電力への放射能対策経費の賠償請求	手賀沼課・クリーンセンター・水道局	国・県の補助金等の対象とならない放射能対策経費について、東京電力に賠償請求を行う	継続	
16	指定廃棄物の長期管理施設の早期確保に係る国への要望	クリーンセンター	関係市と連携を図りながら、長期管理施設の早期確保を国に要望していく	継続	令和2年2月21日、環境大臣あての要望書提出

令和3年度 子どもが多く利用する施設等の放射線量測定結果

1 地区ごとの測定結果

【単位】 マイクロシーベルト毎時

地区名	施設数	測定高		
		1m	50cm	5cm
我孫子地区	5	0.07	0.07	0.07
天王台地区	3	0.06	0.06	0.06
湖北地区	3	0.07	0.07	0.07
新木地区	1	0.06	0.06	0.06
布佐地区	3	0.07	0.06	0.07

2 施設ごとの測定結果

【単位】 マイクロシーベルト毎時

【測定機器】 クリアパルス株式会社製A2700

番号	地域	施設区分	施設名	測定日	測定箇所数	測定高			備考
						1m	50cm	5cm	
1	我孫子地区	公園	台田池尻公園	5月11日	5	0.09	0.10	0.10	砂場は5cmで0.061 μ Sv/h
2	我孫子地区	学校	我孫子市立久寺家中学校	5月17日	8	0.07	0.07	0.07	
3	我孫子地区	学校	我孫子市立並木小学校	5月17日	7	0.06	0.06	0.06	
4	我孫子地区	学校	我孫子市立第四小学校	5月17日	7	0.06	0.06	0.06	
5	我孫子地区	公園	手賀沼公園	5月11日	5	0.07	0.07	0.07	砂場は5cmで0.067 μ Sv/h
6	天王台地区	学校	我孫子市立第三小学校	5月18日	7	0.06	0.06	0.06	
7	天王台地区	公園	高野山桃山公園	5月11日	5	0.06	0.05	0.06	砂場は5cmで0.067 μ Sv/h
8	天王台地区	学校	我孫子市立第二小学校	5月18日	10	0.05	0.06	0.06	
9	湖北地区	公園	湖北台中央公園	5月11日	5	0.07	0.07	0.07	砂場は5cmで0.071 μ Sv/h
10	湖北地区	公園	中峠亀田谷公園	5月11日	5	0.08	0.08	0.09	砂場は5cmで0.082 μ Sv/h
11	湖北地区	学校	我孫子市立湖北小学校	5月18日	7	0.04	0.05	0.04	
12	新木地区	学校	我孫子市立新木小学校	5月18日	7	0.06	0.06	0.06	
13	布佐地区	学校	我孫子市立布佐南小学校	5月20日	7	0.06	0.06	0.06	
14	布佐地区	学校	我孫子市立布佐中学校	5月20日	7	0.07	0.07	0.07	
15	布佐地区	公園	布佐西町公園	5月11日	3	0.07	0.07	0.07	砂場は5cmで0.076 μ Sv/h

※ 測定値は各施設の測定箇所の平均値。公園は砂場の測定値を除いた平均。

令和4年度の放射能対策事業について

令和3年度に業務量の多い「子どもが多く利用する施設等の定期的な放射線量測定」(資料1のNo.1)「給食食材の放射性物質検査」(資料1のNo.8)の見直しを行いました。

また放射線量の測定や検査の頻度を縮小してきました。

今後その結果の推移を見据える必要があり、また未だに放射性セシウムが検出されている廃棄物の処理に係る取組み(資料1のNo.5、No.6)や千葉県の要請により実施している農産物の放射線検査(資料1のNo.8)など実施が必要な事業もあります。

そのため令和4年度は令和3年度の取組みを継続することとします。なお、資料1中No.7の「原水と浄水の放射性物質検査」については、事故当初から不検出であることから実施頻度を年12回から年6回に縮小します。